

附属図書館の
elaboration

前川ゼミB班
岡本・権平・坂本・飯沢

目次

- [1] そもそも図書館って何？
- [2] 私達が目指す「長野大学附属図書館」
- [3] 附属図書館の現状
- [4] 課題
- [5] 上田マルチメディアセンターとの比較
- [6] これからの方向性

そもそも図書館って何？

図書館とは…利用者の様々な活動を
手助けするためにある

公共図書館



地域の人
のために

附属図書館



大学生
のために

私達が目指す「長野大学附属図書館」

学生のニーズに応じたサービスの展開



本に触れること・読むことを目的とした利用

附属図書館の現状

① 学生のニーズに応じたサービスの展開

- ・ 国立国会図書館の観覧
- ・ 豊富な地域資料



➡ 限られたニーズにのみ対応

- ・ 会議室
- ・ シアター



➡ ニーズには対応

➡ しかし活用出来ていない

附属図書館の現状

② 本に触れること・読むことを目的とした利用

本読みた

本を全国から取り寄せることできる
学生が本のリクエストできる

→利用者が知らないだけ

図書館に
読みたい本が
ないから



課題

学生のニーズをくみ取ることができていない
くみ取れていても有効活用出来ていない

そういうシステムがあるとみんな知っていたのか？
A.知らない → 広報が足りていない

上田マルチメディアセンターとの比較

学生のニーズを
くみ取ることができていない

ターゲット＝講演傍観者

→講演のついでに施設の展示をみる

→ニーズをくみ取り、
施設を有効活用出来ている

広報が足りていない

マスコットキャラクターや
チラシ、施設案内など広報は豊富

→広報出来ている



これからの方向性

① **学生**がもっと運営に関わる

② ポスターや講座、イベント開催等により**活動的に広報**

これからの方向性

学生のニーズに応じたサービスの展開



本に触れること・読むことを目的とした利用

① 学生が運営に関わる

② 活動的に広報
=まず図書館に来てもらう
機会を増やす

具体案

- ・ googleフォームを使って、学生全員にアンケートに答えてもらう
- ・ ホームページ制作 → 図書館側に依頼する
- ・ ポスターの作成・掲示
- ・ 入学時のオリエンテーションで図書館を紹介する



まとめ

**もっと私たち[長大学生]が
有効活用できるような
附属図書館にしていこう！！！！**

ご清聴
ありがとうございました

